昭和51年7月15日
平成22年9月25日発行

広報つわの

2010
平成22年 Vol.60
10月
神無月

平成22年 Vol.60 2010 10月号
http://www.town.tsuwano.lg.jp



9月6日、エコミッション中、電気自動車の充電のため町長と交渉するTeamACPの横田紀一郎氏

今月の主な内容

グランゼコールの足跡 ……p2
特集｜津和野町５周年「いままでと、これから」 ……p3
「町長に聞く」 ……p8
まちの話題 ……p10
津和野町集中改革プランをお知らせします ……p12
けいじばん ……p18

〒699-5292 島根県鹿足郡津和野町日原54番地25
TEL0856-74-0092／FAX 0856-74-0002

編集／発行：津和野町営業課
印刷：有坂田印刷

Library 今月の新刊図書

◎津和野図書館

休館日は10月29日（金）です。

○『農家が教える 加工・保存・貯蔵の知恵』（農山漁村文化協会）農文協（編）
○『憚りながら』後藤 忠政（著）（宝島社）
○『あの世に聞いたこの世の仕組み』（サンマーク出版）雲黒斎（著）
○『どうぶついろいろかくれんぼ』（ポプラ社）いしかわこうじ（著）
○『お芋の菓子箱』（農文協）江島 雅歌（著）
○『湖底の城呉越春秋・第一巻』（講談社刊）宮城谷 昌光著
○「日本経済の真実」（幻冬舎刊）辛坊 治郎・辛坊 正記著
○「天海の秘宝上・下」（朝日新聞出版刊）夢枕獏著
○「御当家七代お祟り申す 半次捕物控」（講談社刊）佐藤 雅美著
○「49日のレシピ」（ポプラ社刊）伊吹 有喜著

◎日原図書館

○『農家が教える 加工・保存・貯蔵の知恵』（農山漁村文化協会）農文協（編）
○『憚りながら』後藤 忠政（著）（宝島社）
○『あの世に聞いたこの世の仕組み』（サンマーク出版）雲黒斎（著）
○『どうぶついろいろかくれんぼ』（ポプラ社）いしかわこうじ（著）
○『お芋の菓子箱』（農文協）江島 雅歌（著）
○『湖底の城呉越春秋・第一巻』（講談社刊）宮城谷 昌光著
○「日本経済の真実」（幻冬舎刊）辛坊 治郎・辛坊 正記著
○「天海の秘宝上・下」（朝日新聞出版刊）夢枕獏著
○「御当家七代お祟り申す 半次捕物控」（講談社刊）佐藤 雅美著
○「49日のレシピ」（ポプラ社刊）伊吹 有喜著

■寄附のお礼

次の方からご寄附をいただきました。ありがとうございました。
榎　峯子　様（枕　瀬）　社会福祉事業として
吉崎　昭代　様（滝　元）　社会福祉事業として
小川　榮　様（中座二）　津和野町教育関係として10万円

■お詫びと訂正

8月号「まちの話題」（P8）でご紹介した徳川夢声・句碑の記事において新設されたのは句碑ではなく正しくは句碑の案内標柱です。

ご協力をお願いします　自動車起終点調査

9月から11月にかけて、「自動車起終点調査」（自動車利用に関するアンケート調査）を行います。
この「自動車起終点調査」は、交通の流れのもととなる車の一日の動きについて、どこからどこへ、どういう目的で移動したかなどを調査するもので、現在の交通実態を把握し、住み良いまちづくりや将来の道路計画の基礎資料とするものです。
調査は、島根県内から無作為に選び出された世帯を調査員が訪問し、調査票を配布して記入方法などを説明いたします。
また、記入していただいた調査票は、後日、調査員が回収に伺います。
本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をよろしくお願いいたします。
※当調査における調査員は、松江国道事務所長印を押印した身分証明書を携帯しています。



実施主体：国土交通省　松江国道事務所
　　国土交通省　浜田河川国道事務所
問い合わせ先：島根県起終点調査サポートセンター　℡０１２０－１０３４－０７

お祝い申しあけます（敬称略）

◇8月届出分
石川　莉子　7・26（木ノ口下）
廣瀬　七海　7・27（小　瀬）
吉田　穂実　8・3（直地上）
岩本　夏芽　8・4（滝元下）
村上　千夏　8・8（木ノ口上）
大庭　愛陸　8・17（三渡曽庭）

おくやみ申しあけます（敬称略）

◇8月届出分
村上　テル　8・1（金見町上）　94歳
榎　繁　8・5（枕瀬西）　92歳
齋藤貴久志　8・7（下　組）　86歳
田村　ウメノ　8・8（上横道）　92歳
吉崎　義人　8・14（滝元下）　86歳
冨田　富子　8・18（左鐙西）　83歳
中田　英夫　8・26（下横道）　84歳
岡崎松太郎　8・28（西　一）　88歳
齋藤ミヤ子　8・29（枕瀬東）　78歳
藤井　富夫　8・30（青　原）　83歳
青木　茂雄　8・30（寺田上）　73歳

山口－津和野－島根
石匠 森本 墓石・石工事
国内材、高級石材取扱専門/霊園、墓所企画開発
―各宗社寺御用商―
有限会社 森本石材
0120 フリーダイヤル (0120) 55－7154
■津和野本店/寺田823－1 TEL(0856)72－1002(代)
■吉賀営業所/七日市907－3 TEL(0856)78－2078

広報つわのは、
広告主を募集しています
基本サイズは縦4.5cm×横8.5cm
広告料は5千円(町外は8千円)となります。
同じページの隣り合う2つの枠は1枠の広告とすることができます。
その場合は1万円(町外は1万6千円)となります。
【お問合せ先】　営業課　（☎74-0092）

■住民基本台帳（平成22年8月末現在）

世帯数	人口	出生	死亡	転入	転出
3,696世帯	8,718人（男4,055人　女4,663人）	6	12	12	14

グランゼコールの足跡

約1ヶ月間、津和野に滞在し、茶道体験や子ども達との交流、石見銀山訪問など様々な体験をしたクレアとフランソワ。2人から滞在を振り返っての感想を紹介します。



津和野は住み心地のよい小さな町で、日本の伝統・文化が発見できます。

津和野に来て最初に気づいたことは風景がフランスとはとても違うということです。周囲の山すべてを覆っている森林は荘厳であり、心を和ませてくれます。

津和野の自然が豊かであるということは、野生動物と住民がうまく調和して生活していることからも感じることができます。例えば、鷺、鯉、蛇、蛙、イノシシや鷹などに出会いました。（私の部屋に入ってくる蛙もいました）。ですから、津和野は都会の絶え間ない雑踏から遠く離れた、エネルギーを充電できる静かで安らぎのある町と言えます。

でも、津和野は古い伝統を守っているだけの町ではありません。ここでは今日の社会の快適さを十分享受できる現代性を見いだすことができます。というのは、フランスの田舎と違って、津和野にはたくさんの店やスーパーマーケットがあり、高校さえもあるからです。

さらに、この町には特に祭りや儀式を保存することにより、津和野の精神や伝統を残していこうとする知性があります。私達は有名な鷺舞に参加する機会に恵まれました。本当に特別な時間を体験でき、この神事に参加できる栄誉がどのようなものであるかを感じることができました。

この町は驚くべき町で、1、000本もの鳥居が並ぶ厳かな神社や過去へのタイム・トラベルができる侍屋敷地区があります。

私達を暖かく迎えてくださった住民の皆さんの親切さを忘れることができません。ホスト・ファミリーの皆さん、町役場の皆さん、この町でお会いした全ての皆さんに心から感謝いたします。この人たちのおかげで私達の津和野滞在は忘れられないものとなりました。

津和野は「世界の他の場所とは異なった、時間が違ったふうに流れている不思議なところ」として私の記憶に残るだろうと思います。







日本の田舎が初めての者にとって、東京から津和野に着いて最初に気がつくことは森林があらゆるところにあるということです。ヨーロッパの田舎には森林はほとんどありません。ヨーロッパの田舎は山があまりなく、あっても急峻な山でないため、利用できる土地はみんな農業用地になっています。津和野は美しい谷の中にあり、松や竹などが生えている山に囲まれており、その山の麓を小さな川が流れています。これは私のように平野部から来た者には極めて魅力的な風景です。フランスは野生動物の少ない国ですから、野生動物がいるのもまた印象的です。私の国にも鷺はいますが、津和野ほど近くで鷺を見ることはできません。フランスのブルーガイドを読んで、津和野の歴史的観光名所に期待をしていました。そして、この期待は十分に満たされるものでした。殿町通りは昔の侍の屋敷があり、たくさんの鯉がいて、とてもユニークで詩的な雰囲気のあるところです。稲成神社は美しく、京都の稲荷神社を彷彿させますが、同時にまた、より親近感と意外性を感じさせてくれます。稲成神社からリフトで津和野城址に行きました。廃墟となった城跡はこの谷に長い時間が流れていることを示す証であり、城址からの町全体の眺望はとても素敵でした。

永明寺には古い襖絵と美しい禅庭園があります。ここは異文化の旅について瞑想するのに最適の場所です。私はこの異文化（日本文化）についてより深く今は理解できると感じています。特に鷺舞に参加できたことはこの地域の伝統を知る上で特別な体験となりました。ユニークで忘れられない経験です。ですから、津和野は旅行者には本当に素晴らしいところです。特にヨーロッパ人にとって興味深いところです。

週末、町を訪れる観光バスの流れは止むことがありませんが、津和野への観光客数は近年減少しているようです。このことは街の山腹にある廃屋となった2つのホテルからもわかります。このことに対応する方法は、例えば、現在存在する津和野とベルリンのつながりを通して国際的ツーリズムを発展させることではないでしょうか。

この町で会った人々・・・とても親切にしていただいたホスト・ファミリーの皆さん、全てを用意・組織していただいた役場の皆さん、あちこちで出会った町民の皆さん・・・のことを私はこれからも忘れません。私は鷺舞の後のパーティで「私達の出会いは一期一会です」と言いました。これは東京にいるとき都丸（トマル）さんという方との会話の中で教えていただいた言葉です。この言葉は私達の津和野滞在をとてもうまく言い表していると思います。

特集

津和野町5周年 いままでと、これから

終息した平成の大合併

1995年（平成7年）に地方分権一括法によって合併特例法の改正が行われて以来、全国の地方自治体で合併が進められた。

その結果、全国の地方自治体の数は3229（※1）から1727（※2）と半数近く減少した。

平成22年3月末に合併を牽引してきた総務省によって合併については一応の一区切りとされたものの、島根県内でも松江市と東出雲町、出雲市と斐川町の合併にむけて様々な動きが展開されており、全国的にみても地方自治体の合併については現在も様々なところで進行している。

※1・・・平成11年4月1日時点
※2・・・平成22年3月31日時点
ともに総務省発表による市町村合併推移表に基づく数値

どこへ行く津和野町

私たちが暮らす津和野町もその例に漏れず、平成17年9月25日に旧津和野町と旧日原町が対等合併し、今年で5年が経過することになる。この間、山陰地方の小さな町ながら様々な出来事があり、その影響を直接的、間接的に受けながら私たちは生活をしている。

そこで、現在の津和野町が誕生してからの出来事を振り返り、いままでとこれからの津和野町の姿について考え、町の代表である下森博之町長に津和野町に対する思いやどういう考えで町政に取り組んでいるか直接聞いてきた。



特集 津和野町5周年 いままでと、これから

新津和野町が誕生！



9月25日、平成16年4月の合併協議会設立以後、30回にわたる協議を重ね新津和野町が発足しました。
当初は町長職務執行者として中谷文一氏を迎え、10月30日には町長選挙が行われ、初代町長として中島巌氏が当選し町政の運営体制が整いました。

手づくり郷土賞受賞



1月2日、個性的で、魅力的な地域づくりに寄与している社会資本に対して送られる郷土賞について本町の殿町通りの町並みや、鷺舞などの幅広い取り組みが評価され同賞の受賞となりました。

女優・倍賞千恵子さん来町

10月22日、津和野町合併一周年を記念して行われた講演会で女優・歌手として活躍されている倍賞千恵子さんが来町し、「歌うこと　演じること　生きること」と題した講演会を行いました。映画「男はつらいよ」シリーズに数多く出演されている倍賞さんは幼いころの体験や映画撮影のエピソードを紹介、歌の披露もされ合併一周年にふさわしい講演会となりました。

安野光雅美術館30万人突破

12月5日、2001年3月20日の開館以来、全国の安野光雅ファンを多く迎え入れてきた美術館。記念すべき30万人目の来場者は中国から留学生（17歳）の方で、ホームステイ先の家族の方が勤務する高校の教員住宅はかつて安野光雅さんが教員をしていた時、下宿先として使われていた建物で不思議な縁に導かれた来館記念となりました。

人権・同和対策推進協議会発足

2月6日、旧津和野、旧日原でそれぞれに活動していた人権・同和対策に関する協議会を一本化した津和野町人権・同和対策推進協議会の設立総会が行われました。
総会後の研修会では大分県佐伯市役所の観光親善大使矢野大和（やのたいわ）氏を迎え、講演会を行いました。
同協議会では現在も様々な活動を通じて人権・同和対策を進めています。

新津和野町観光協会発足



3月29日、旧日原、旧津和野にあった2つの観光協会が合併した新しい津和野町観光協会の調印式が行われ、関係者ら20人が出席しました。式典では代表者らが調印文書への署名・捺印をした後、これからの津和野の発展のため固い握手を交わしました。

旧山陰道遺構、中座地区で発見

5月17日、県道新設工事に伴って行われた発掘調査により中座地区において江戸時代の山陰道の遺構が発見されました。山陰道は京都から下関まで通じていた官道で町名では青原から柳、商人、寺田、後田、中座を通り野坂峠へ向かっています。今回発見された遺構は幅3m、長さ150mにわたり石が敷き詰められ山側には側溝が備えられており当時の技術力の高さを確かめることができます。20日には現地説明会が行われ参加者は当時の様子に思いを馳せていました。

森鷗外胸像、デーベン城に設置



6月22日、森鷗外が留学していたドイツ・デーベン村にあるデーベン城に鷗外の胸像が設置され、除幕式が行われました。一人の偉人によってできたドイツと日本の小さな町の間の絆をより深めることができた式典となりました。

日原小学校屋内運動場竣工

4月2日、老朽化に伴う改築工事が行われていた日原小学校屋内運動場が完成しました。
改築前の運動場は昭和13年の建築以後68年の長きにわたり変わらぬ姿で児童たちを見守り続けていました。

ベルリン市中央区一団が訪日



5月9日から20日まで森鷗外ゆかりの地・ベルリン（ドイツ）から町とも姉妹都市提携を結んでいる中央区の一団が津和野町を訪問しました。
滞在中はホームステイをしながら、町内でさまざまな行事に参加しました。

行財政改革推進協議会、町に答申

10月11日、町から委嘱を受け、津和野町の行財政改革について諮問を受けていた津和野町行財政改革推進協議会が中島町長（当時）に答申書を提出しました。同協議会は将来に向けた行財政改革のあり方についてまとめ、この答申をもとに様々な計画がまとめられ、それに沿って町の改革が進められていくことになりました。

しまねふるさとフェアin広島



1月20日、広島県立総合体育館で島根の特産品などを集め島根の魅力をPRする「しまねふるさとフェア」が開催され、町の特産品も数多く販売されました。
会場は島根の特産品の販売ブースの他、足湯や島根の食を体験できるコーナーなどが設けられ、多くの来場者でにぎわいました。

津和野町集中改革プラン策定

津和野町行財政改革大綱実施計画に基づき「津和野町行財政改革大綱集中改革プラン」が策定されました。このプランでは30項目の改革項目で構成されており平成18年度から平成22年度までの5年間を期限として事務事業の見直し、定員および給与の見直し等さまざまな改革を行っていく計画です。

農業担い手支援センター開所

4月2日、食料自給率向上のため農業後継者・認定農業者の育成、集落営農組織の育成・強化を目的に同センターが設置されました。センターは高齢化が進む町内の農業事情に対し、様々な支援等を行うことになっています。なお、開所式には関係者らおよそ30人の出席がありました。

町内の中学生、ベルリンへ！

6月30日から7月11日にかけて津和野中学生6名、日原中学生4名の生徒が姉妹都市提携を締結しているドイツ・ベルリン市中央区へ訪問しました。
現地では市内見学のほか、世界遺産でもあるベルガモン博物館なども訪問し、歓迎のセレモニーにも参加しました。また中学生からの日本文化の紹介なども行われ、お互いにとって思い出深い訪問となりました。

平成17年9月 日原小学校屋内運動場竣工
平成18年1月 ベルリン市中央区一団が訪日
平成18年4月 しまねふるさとフェアin広島
平成18年5月 行財政改革推進協議会、町に答申
平成18年10月 津和野町集中改革プラン策定
平成18年12月 農業担い手支援センター開所
平成19年1月 町内の中学生、ベルリンへ！
平成19年2月 森鷗外胸像、デーベン城に設置
平成19年3月 旧山陰道遺構、中座地区で発見
平成19年4月 新津和野町観光協会発足
平成19年5月 人権・同和対策推進協議会発足
平成19年6月 女優・倍賞千恵子さん来町
平成19年7月 安野光雅美術館30万人突破

特集 津和野町5周年 いままでと、これから

サンネットにちはら 地デジ放送開始



12月1日、2011年7月24日のアナログ放送終了、地上デジタル放送への完全移行に向けてサンネットにちはらでも地上デジタル放送を開始しました。

手づくり郷土(ふるさと)賞受賞

12月20日、昨年同賞を受賞した殿町通りに続き、本町・祇園町通りが手づくり郷土賞を受賞し、伝達式が広島で行われ認定証が手渡されました。

津和野高校創立100周年



9月5日、明治41年9月4日に鹿足郡立高等女学校として発足、昭和24年に現在の校名となり、これまでに1万4千4百人の卒業生を送り出してきました。

記念式典では関係者らから祝辞が述べられ、歌手のさだまさしさんのコンサートや卒業生のメッセージを集めたVTRが放送されました。

日原クラブ全国大会出場

10月6日から8日にかけて開催された高松宮杯第51回全日本野球大会に津和野町から出場した日原クラブは東京のY・Sクラブと対戦し0対1で惜しくも敗れました。初めての全国大会出場について堀秀美監督からは「選手は大会の雰囲気の飲まれず堂々とプレーした。応援してくれた皆さんに感謝したい。」と述べていました。



全日本合唱コンクール全国大会 津和野中学校合唱部　初出場で銀賞!

10月28日、岩手県盛岡市で行われた第60回全日本合唱コンクール全国大会で津和野中学校合唱部が銀賞を受賞しました。初出場で不安もたくさんあるなか、すばらしい結果を残してくれました。



第1次津和野町総合振興計画策定

この計画は平成19年度から向こう10年間の津和野町が目指すべき方向、ビジョンを示し、Ⅰ「基本構想」Ⅱ「基本計画」Ⅲ「まちづくりプロジェクト」で構成されており町ではこの計画に沿った形で様々な事業が行われています。

まちづくり出前講座はじまる

この講座は町民の皆さんからの要請に応じ、職員が出向き様々な行政情報を伝え、情報交換を行っていく中で、住民視点に立った行政運営を図るためのものです。

出前講座のメニューは現在27講座、皆さんの積極的な活用をお待ちしています。

詳しくは町ホームページでご確認ください。

日原天文台「天の川(あまのがわ)賞」受賞



10月4日、愛知県豊田市で行われた第20回「星空の街・あおぞらの街」全国大会で日原天文台が全国協議会会長賞「天の川(あまのがわ)賞」を受賞しました。これは天文台での各種イベント、観測会、各種展示や学習、情報発信等により星空のすばらしさと地球環境の大切さ、地域の光環境を良好に保つ活動などに積極的に取り組んでいることが評価されての受賞となりました。

津和野地区消防センター完成

4月4日、津和野地区の新たな消防防災活動の拠点として津和野地区消防センターが完成しました。同センターは分遣所と消防センターの2つの機能を併せ持ち、津和野地区の消防防災の拠点として運用され、その機能が一層強化されることになりました。

なお、日原地区においても日原診療所周辺に新たな消防センターの建設計画がすすめられており、町全体の消防防災機能の強化が進められています。



下森新町長誕生



10月30日、津和野町長に新たに下森博之氏が就任されました。平成21年10月25日に行われた津和野町長選挙で3、298票の得票で初当選しました。

また同日行われた津和野町議会議員補欠選挙では岡田克也氏と米沢宕文氏が当選しました。

特集 津和野町5周年 いままでと、これから

津和野町景観シンポジウム開催

9月12日、地元に残る美しい風景や歴史文化を活かした景観づくりを考えるシンポジウムが開催されました。基調講演として「NHKのど自慢」の司会者であった宮川泰夫氏を迎え、津和野の景観などに対する思いを語っていただきました。そのほかにも有識者らによるパネルディスカッションなども行われ津和野らしい風景についてそれぞれの思いを話していました。



新医療体制スタート

平成21年1月1日より日原診療所の指定管理者として同診療所の管理・運営を行ってきた医療法人橘井堂（きっせいどう）が4月1日より新たに津和野共存病院、介護老人保健施設せせらぎ、訪問看護ステーションせきせい及び津和野町医師住宅の指定管理者として指定を受け、管理運営を行うこととなりました。平成20年12月12日、それまで津和野共存病院の指定管理者であった石西厚生連の破産申立てにより地域の医療体制は大きな衝撃を受けましたが、中島町長（当時）は地域医療を継続させるために同法人を支援していくと述べ、代表の須山理事長からは役職員一丸となって信頼される医療機関となる決意を述べられ、これにより新しい町の医療体制が整いました。

公民館新体制スタート

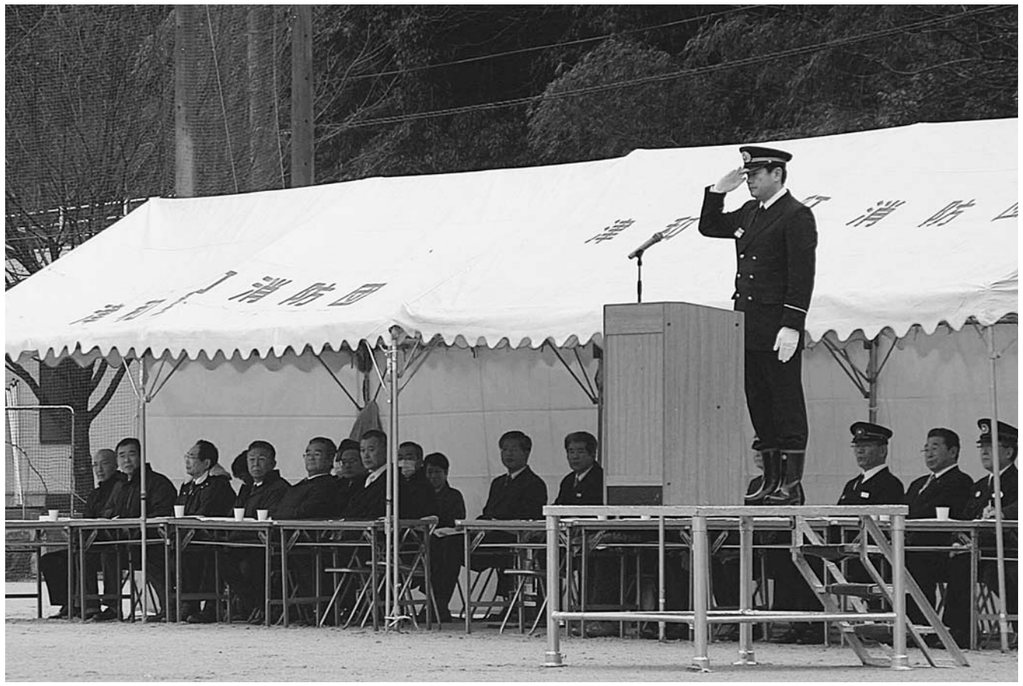
4月1日、地域住民との協同・学習・交流の場として親しまれている公民館の組織体制が新しくなりました。中央公民館2館、地域公民館8館、公民館分館4館で組織され、それぞれの公民館での事業などを行っていくことになりました。

津和野町景観条例施行

町の個性的かつ優れた景観を守り、育み、次の世代へ継承することを目的として、4月1日、同条例が施行されました。

そして、これから

平成21年10月 下森新町長誕生
平成21年9月 津和野地区消防センター完成
平成21年4月 公民館新体制スタート／津和野町景観条例施行
平成20年10月 日原天文台「天の川賞」受賞
平成20年9月 まちづくり出前講座はじまる／第1次津和野町総合振興計画策定
平成20年6月 全日本合唱コンクール全国大会 津和野中学校合唱部　初出場で銀賞!
平成20年3月 日原クラブ全国大会出場
平成19年12月 手づくり郷土賞受賞
平成19年10月 津和野高校創立100周年／サンネットにちはら 地デジ放送開始



1月10日に行われた津和野町消防団出初式。町の消防防災にも積極的に取り組んでいます。



町長に聞く

まもなく町長就任後１年を迎える下森町長にこれまで津和野町で起こった出来事などに対する思いを聞き、それらを踏まえてこれからの津和野町が歩む道、どういったビジョンを描きながら町政にとりくんでいるのか、町民である私たちが聞きたい町長の本音を聞いてきました。

――これまでの自身の取り組みを自己採点するとどうなるでしょうか？

下森町長　町の仕事は２つに大別されると思っておりまして、一つは財政の立て直しや生活環境の整備、医療の確保など、生まれてくる諸課題の解決にあたることであり、もう一つは経済の活性化や定住促進など、新しい発想をもって特色あるまちづくりに取り組む創造的な仕事です。町長就任以来のこれまでを振り返った時、前者である諸課題の解決に追われる毎日で、後者の創造的な取り組みに着手する余裕が無かったというのが実感です。しかしながら、課の新設を行うなど思い描く体制づくりは実行しており、今後、後者の比重を大きくしてまいります。

　また、当然のことでありますが、選挙時に町民の皆様にお示しをした公約についても着実に取り組んでおります。中学卒業までの子ども達を対象に医療費の完全無料化を10月より行うことと決定しておりますし、医療スタッフの確保対策や津和野高校支援、津和野町教育ビジョンの策定にも現在取りかかっております。更には、官民協働のまちづくりを進めるための行政評価制度の構築や地域担当制の検討など、公約に基づいて取り組んでおります。

特集　津和野町５周年　いままでと、これから

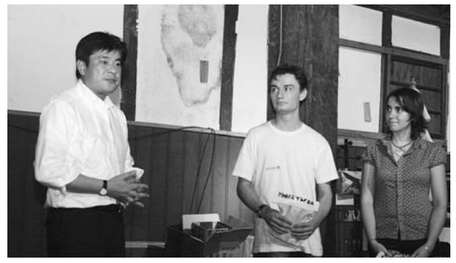
　ただ、これらはあくまで手段にすぎず、町民の皆様が幸せを実感されてはじめて町の使命が達成されたといえるわけでありますから、そのような観点から申し上げると、自己採点をするレベルにはまだ達していないと受けとめております。

――新しい津和野町が誕生して今年で５年になります。これまでの町の姿を振り返ってみて自身に大きな影響を与えた出来事などがありますでしょうか？

下森町長　５年間の出来事の中で１つだけをあげると、何といっても津和野共存病院、日原診療所等の公設民営化です。石西厚生連の破綻という激動の中、中島前町長のご努力により、現在、津和野町の医療の灯は守り続けられております。高齢化率が40％を超えている中、多くのご年配の方に健康で暮らして頂くため、また、安心して子育てができる環境づくりのためにも、津和野町にとって医療は非常に重要といえます。現在、津和野共存病院、日原診療所、老人保健施設せせらぎ、訪問看護ステーションせきせいの運営を医療法人橘井堂（きっせいどう）に委託しておりますが、関係者のご努力により安定した経営状況にて推移しております。一方で、医師・看護師を中心とした医療スタッフの不足は続いており、病院開設者である私の責任は重いと自覚しております。橘井堂や島根県と連携を更に強め協力をしあいながら、医療スタッフの確保につとめ、またその他にも、医療機器の整備などを図り、安定的な医療の提供を実現させてまいりたいと思います。

――アメリカのオバマ大統領のキャッチフレーズ「Change」や「Yes．We Can」、民主党の政権交代などを踏まえ、「変革」がキーワードになっているように思います。行政の変革についてどのように考えておられますでしょうか？

下森町長　私が考える変革とは、まちづくりにおける民間の皆様と行政との関係を再構築すること、そしてその関係に対応できる行政に意識と体制を変えていくことだと信じております。地方分権の流れの中で自治体の自立が問われており、厳しい財政状況を克服して活力ある津和野町を創り上げていくためには官と民とが相互理解のもとに協働のまちづくりを行っていくことがとても重要で、まずはその仕組みを創る必要があると考えます。こうした中、４月からまちづくり政策課を新設し、地域課題等概要調査を皮切りに現在、行政評価制度の構築に取り組んでいるところでありまして、今後も自治会等支援事業、住民自治関連条例の制定、行政モニター制度等に取り組んでいく計画です。また、協働のまちづくりに対応できる機能的な行政となるために、更なる人材育成や人事評価制度の構築に取り組むとともに、営業課、地域振興課を新設するなどし、創造的な事業を展開していくための組織づくりも行ったところであります。ただし、変革には必ず摩擦が生じますがその摩擦や壁を乗り越えてこそ、変革の良き結果が得られると信じております。私自身の確固たる信念が最も求められていると考えております。



今年、町で受け入れたフランスからの留学生へ激励のメッセージを送るため公務多忙の中、駆けつけた下森町長。町長の真剣な思いは言葉を超えて二人にも伝わった。

――最後にあらためて町長という職に対す意気込みと思いについてお聞かせください。

下森町長　毎日のように発生する行政課題に処する間に、早くも１年が経とうとしております。今後も、国保会計の立て直しや合併協定項目のうち未整備となっていた水道料金の統一化、交通体系の格差是正など、就任１年目という甘えは許されない重要課題が控えております。ご負託を受けた４年間において、これまでお話させて頂いた取り組みについて着実に成果を出し、地方分権時代における自立した津和野町を創り上げていく責任を果たして行かなければなりません。初心忘るべからず～町民の皆様とともにまちづくりを進めてまいりたいと思います。今後も皆様のご指導とご協力をよろしくお願いいたします。



今後の町づくりをどのように構築していくか町民の皆様の協力を得ながら進めていくよう日夜業務に取り組んでいる。



４月から新しく津和野高校支援係を設置し、教育への取り組みも進められている。

まちの話題

いろんな行事・イベントを広報担当者が取材にいきます。
町内でがんばっている皆さんの姿、身近な出来事、話題を教えてください。
営業課　広報係　℡ 74-0092

盆おどりの幕開け　柳まいり



8月10日、後田の新丁通りで津和野盆おどりの幕明けを告げる「柳まいり」が行われました。「柳まいり」は島根県無形民俗文化財として登録されており、1617年当時の津和野藩主・亀井政矩が因幡鹿野城から国替えされた時に伝えられています。黒頭巾に白装束という独特な衣装は亀井氏の祖先が城攻めの際、鎧の上に踊りの衣装を着せて油断した敵に奇襲をかけたという逸話に由来しています。

この日、保存会のメンバーおよそ50名が櫓の上から奏でる太鼓と笛、三味線の音色に合わせたお囃子に乗せて踊りを披露し、偶然居合わせた観光客も踊りの輪の中に入り、見よう見まねながら楽しく踊っていました。

夜空の咲く満開の花火　日原あゆまつり大会





8月15日、日原地区で毎年恒例の「あゆまつり花火大会」が高津川河畔で行われ、町内外から多くの方が訪れました。

高津川沿いに設けられた特設ステージではアマチュアバンドなどの演奏が行われました。午後8時からは花火大会が始まり、綺麗な花火を見ようと沿道が多くの人で埋め尽くされました。この日は風もあり、煙で花火が隠れることもなく高津川上空に打ち上げられた色とりどりの花火が打ちあがる度に歓声が上がり、夏の空に満開の花火が咲き乱れました。

地域に根ざした活動を　益田法人会　社団化30周年



8月11日、23日に津和野共存病院、津和野町社会福祉協議会日原支所にて社団法人益田法人会社団化30周年記念事業として車いすの贈呈が関係者らにより行われました。

法人会は税の適正申告を目指す法人会員で組織され、会員の健全な発展と税務知識の普及を目的に活動しています。

11月2日には、30周年記念事業として益田市グラントワで講師に横石知二氏を迎え、「そうだ、葉っぱを売ろう!」と題した記念講演を行うことになっています。講演は無料、参加に当たっては入場整理券が必要となりますので、ご希望の方は（社）益田法人会事務局（℡・0856―23―7640）までお問合せください。

地域で支えてみんなで笑顔　認知症講演会「認知症を知り、地域で支えよう」



8月21日土曜日、町と津和野町社会福祉協議会の主催により日原山村開発センターにて「認知症を知り、地域で支えよう」と題してNPO法人グループホームあじさい施設長の村上桃子氏を迎え講演会を行いました。講演会では認知症の症状や対応の仕方等をとても分かりやすく話されており、約100人の来場者は熱心に耳を傾けていました。

また会場では認知症について正しく理解し、偏見を持たず症状をもった方に対して温かく見守るサポーターであることを示すオレンジリングが配布されました。町内でもサポーター要請講座を開催し、今までに町内で約600人の方がサポーターとなっています。今後も、町全体で認知症になっても安心して暮らせる町づくりをめざして活動を行っていきます。

交通安全ゼロへ　全国交通安全キャラバン



9月1日、「全国交通安全キャラバン隊」が「メッセージ伝達式」のため津和野町を訪れ、下森博之町長に安全対策強化を訴えました。

「交通安全は家庭から」をスローガンに、全国交通安全母の会を中心に進められ、伝達式には町内の関係団体から多くの方が参加されていました。

今年の県内の交通事故死亡者は18人、そのうち65歳以上が12人となっており、伝達式では関係者から「日常の中で少し注意をするだけで交通事故はもっと減らすことができる。家族へ声をかけあって安全への意識を高めて欲しい。」と話していました。同キャラバン隊はこの日、県内での全日程を終え、次のメッセージ伝達のため山口県へ向かいました。

電気くださーい　ECO MISSION 2010



9月6日、環境へのPR活動をしながら全国を走っている電気自動車（EV（electric vehicle））が充電のため、町役場を訪れました。活動をしているTeamACP代表・横田紀一郎氏は「今まで世界のいろんなところをキャラバンしてきたが、もう一度日本を見て回りたいと思った。環境問題に取り組むようになっておよそ20年が経過して、ようやく一般に認知されるようになった。これからもいろんな活動が広がっていくと嬉しい。」と話していました。

横田氏は7月に九州地方からキャラバンをスタートし、津和野を訪れた翌日には岡山県へ向けて出発しました。年内には北海道へ渡り、全国キャラバンのゴールを目指すとのことです。

津和野町の行政改革⑦

津和野町集中改革プランの平成21年度実施状況をお知らせします

本町では、平成18年10月に策定した「津和野町行政改革拡大網実施計画」に基づき、担当課・実施期間・数値目標を設定した「津和野町集中改革プラン」を平成19年3月に策定しました。今回は、特集として、平成21年度の集中改革プラン実施状況について、お知らせします。

●平成21年度効果額
目　標：216、163千円
実　績：198、060千円
達成率：91・6％

【集中改革プランの概要】

集中改革プランは、6項目の重点課題と30項目の改革項目で構成しており、平成18年度から平成22年度までを推進期間として年次計画を定めたものです。

各年度の数値目標は、改革項目を実施した場合の歳入増額分、歳出減額分を基に設定しています。

【取り組みと効果】

（1）合併協定項目の検証

合併協定項目の協議方針に従い、当面の経過措置として合併前の町区域ごとにそれぞれ従前の水準を維持し、一定期間経過後に調整を行う予定の2項目について見直しを行い、経費の削減を図りました。

（2）事務事業の見直し

事務事業の仕組みや内容を検討したうえで、道路維持補修業務の民間委託、庁舎用務員、電話交換手の廃止、交際費削減など、6項目について整理合理化を行い、行政コストの削減を図りました。

また、旧町単位で異なる粗大ごみの収集方法及び手数料の統一化については、アンケート調査や概要説明のチラシの配布、自治会等への調査を行い収集方法のステーション化を推進し平成22年8月1日より統一化を図りました。

（3）定員及び給与の見直し

給与については、特別職・職員給与・議員報酬などの項目について抑制を図りました。具体的には、平成21年も引き続いて町長、副町長、教育長の給与を15％減額、管理職手当を25％減額、議員報酬を5％減額し、職員給与については、平成21年度は3％の減額をしています。

職員数については、定員管理計画に基づき継続して職員数の削減を行っており、合併前の平成17年度と比較して16名を削減しています。

時間外勤務時間については、平成21年度に時間外勤務命令等の取扱い要領を定め削減に努めましたが、災害の発生等により平成18年度と比較して1、732時間の削減にとどまり、目標に対して30・5％の達成率となりました。

定員管理計画に基づく職員数削減や権限委譲による事務量の増加等により、時間外勤務時間の削減は、厳しい状況にありますが、今後も引き続き総時間外勤務時間の削減による時間外勤務手当の抑制に努めていきます。

（4）公共施設管理の見直し

学校給食施設の統廃合や指定管理者制度の計画的実施など4項目について見直しを行い、効率的な施設管理による維持管理経費の削減を図りました。

指定管理者制度の導入については、平成20年度に公の施設の管理運営方法について検討を行い、平成21年度は、22施設について指定管理者制度の導入を図りました。

（5）第3セクターの見直し

財団法人津和野町開発公社について、平成19年度末に組織の解散を行い、平成20年11月に清算結了しました。

（6）財政の健全化

町税等の収納率向上については、平成21年度は、目標に対して103・1％の達成率となりました。今後も引き続いて、庁内に設置している津和野町町税等滞納整理対策本部内での関係各課の連携により、収納率向上を図っていきます。

なお、平成22年度実施予定項目の軽自動車税の税率見直しについては、県内外の導入状況や町内の経済状況などを踏まえ、見送ることといたしました。

【今後の取り組み】

集中改革プランなどの取り組みにより、平成21年度一般会計歳出決算額は、平成17年度一般会計歳出決算額と比較して、13億2、812万3千円の減額となっています。

平成22年4月の機構改革により新たにまちづくり政策課を設置し、引き続き行財政改革の進捗状況の把握に努め、改革を確実に実行するための定期的な進行管理を行ってまいります。

改革の断行には、さまざまな痛みが伴うことも予想されますが、行財政改革を推進するにあたっては、各組織や団体、住民のみなさんに十分な説明を行い、ご理解を得ながら進めてまいりますので、なお一層のご理解とご協力をお願いします。

（1）合併協定項目の検証

項目（担当課）	取り組み内容		実施年度・金額効果（千円・%）				
			H18	H19	H20	H21	H22
町民運動会（教育委員会）	町民運動会の休止を検討する。	目標	700		700		700
		実績	700		700		—
		達成率	100.0		100.0		—
敬老事業（福祉事務所）	敬老会の廃止、記念品贈呈対象者の見直しを図る。	目標	1,976	1,976	1,976	**1,976**	1,976
		実績	1,976	1,976	1,976	**1,976**	—
		達成率	100.0	100.0	100.0	**100.0**	—

（2）事務事業の見直し

項目（担当課）	取り組み内容		実施年度・金額効果（千円・%）				
			H18	H19	H20	H21	H22
交際費の削減（総務財政課）	町長、議長、教育委員会の交際費の削減を図る。	目標		490	490	**490**	490
		実績		580	428	**149**	—
		達成率		118.4	87.3	**30.4**	—
ケーブル電話の活用（総務財政課）	ケーブル電話の活用により庁舎内の町内電話代の削減を図る。	目標		630	630	**630**	630
		実績		333	544	**377**	—
		達成率		52.9	86.3	**59.8**	—
日直体制の見直し（総務財政課）	本庁舎の日直体制を2名から1名に減員し、日直手当の削減を図る。	目標		504	504	**504**	504
		実績		504	504	**504**	—
		達成率		100.0	100.0	**100.0**	—
公用車管理の見直し（総務財政課）	公用車の一括管理による台数減等の経費削減を図る。	目標	242	257	525	**304**	528
		実績	242	433	357	**517**	—
		達成率	100.0	168.5	68.0	**170.1**	—
ごみ収集方法の見直し（環境生活課）	粗大ごみ収集手数料の統一化を図る。	目標			60	**60**	60
		実績			0	**0**	—
		達成率			0.0	**0.0**	—
道路維持補修業務の見直し（建設課）	直営で行っていた日原地区の道路維持補修業務を平成19年度より民間団体へ委託する。	目標		5,540	10.906	**10,906**	10,906
		実績		6,153	10,906	**10,906**	—
		達成率		111.1	100.0	**100.0**	—
庁舎用務員の見直し（総務財政課）	本庁舎の用務員（H18）及び電話交換手（H19）を廃止。宿直業務の直営化、学校用務員の削減を図る。	目標	2,450	9,481	9,481	**9,481**	9,481
		実績	2,450	9,481	9,481	**9,481**	—
		達成率	100.0	100.0	100.0	**100.0**	—

（3）定員及び給与の見直し

項目（担当課）	取り組み内容		実施年度・金額効果（千円・%）				
			H18	H19	H20	H21	H22
職員等給与の見直し（総務財政課）	職員給与、管理職手当、町長・副町長・教育長給与、議員報酬の抑制を図る。	目標	41,155	63,920	60,539	**60,065**	59,590
		実績	43,875	63,920	60,539	**39,095**	—
		達成率	106.6	100.0	100.0	**65.1**	—
時間外手当の見直し（総務財政課）	時間外手当の抑制を図る。	目標		14,800	14,800	**14,800**	14,800
		実績		2,474	3,636	**4,513**	—
		達成率		16.7	24.6	**30.5**	—
定員管理計画（総務財政課）	定員管理計画に基づく定員管理を行う。 ○職員数 H17（合併前）　157名 H17（合併後）　150名 H18　145名（5名減） H19　143名（2名減） H20　141名（2名減） H21　142名 （5月1日より141名） H22　138名（4名減）	目標	21,402	68,262	53,603	**43,576**	46,576
		実績	21,402	68,262	61,082	**58,738**	—
		達成率	100.0	100.0	114.0	**134.8**	—
議員定数の見直し（議会事務局）	議員定数18名を2名削減し16名とする。	目標					6,278
		実績					—
		達成率					—

【注意】票の網掛け部分は、実施年度に設定されていない項目です。

町からのおしらせ

地域課題等概要調査を実施しています

まちづくり政策課 TEL 74-0096

町の皆様と行政の協働のまちづくりを推進するにあたり、各地域の活動実態や今後導入を予定している地域担当制度における役場職員の役割など、地域課題等を把握する目的で実施しています。調査は各自治会長を中心に2名程度の自治会役員を対象として聞き取りにて行っています。

聞き取りを行う項目は

1 自治会役員に関すること
2 自治会の概要に関すること
3 自治会活動に関すること
4 自治会の運営上の課題に関すること
5 地域の課題に関すること
6 役場職員の地域担当制度に関すること

以上6項目、計35個の質問を行っています。

調査結果は、今後本町が行うべき自治会支援策や、職員の地域担当制度などを検討する貴重な資料として活用し、集計後、広報紙面上でお伝えしていく予定です。

暮らしのワンポイントアドバイス

～生活保護はどんなもの？～

津和野町福祉事務所 TEL 72-0673

福祉事務所が担当している生活保護は、国民の権利として病気や心身の障がい、突然の事故などで生活に困った時に、生活を支援し自立を応援する制度です。保護費の基準は国によって定められており、自宅に居住する65歳の単身の男性（収入／年金：月額3万円、障がい等／なし）を例にとると、概ね月額3万1千円が給付されることになります。

保護は申請に基づいて決定され、世帯を対象に行なわれます。制度では、持てる能力、預貯金・保険などの資産、親族からの援助、他の法律による支援制度などは保護に先立って活用しなければなりません。そのため、申請されてもかならず認定になるわけではありません。

また、生活保護には一定の条件以外では車の保有、使用ができないことや、基準額以上の家賃の住居に住んでいる場合には転居等が求められること、虚偽の申告をした場合には刑事告発を受けるなど厳しい一面もあります。

さまざまな自助努力をしてもなお生活に困窮し、生活保護の申請を考えておられる方は、まず福祉事務所にご相談ください。

＊特定の第三者を対象としたお問い合わせに対しては、法律の定めによりお答えできませんのであらかじめご了承願います。

毎日の食事を楽しみましょう！

食生活改善推進協議会（枕瀬・滝元班）

健康保険課 TEL 72-0651

食事は人間にとって生きることの基本であり、大きな楽しみの一つです。料理をしたことのない男性が一人暮らしを余儀なくされたり、単身生活をしなければならなくなったときに、まず困るのが毎日の食事です。男性も自分の健康に気を配り、元気に暮らしていくことができるよう、生活の自立と生活習慣病の予防を目的に料理教室を各班で行っています。

枕瀬・滝元班のヘルスメイトは、ここ数年、子ども料理教室・男性料理教室を行い、地域の人達との交流を深めています。私たちの活動内容も少しずつ分かってもらえていると思います。…が、『もう少し参加者が増えるといいなぁ～』と思っています。みなさん、ぜひ誘い合ってご参加ください。今後、地域のより多くの人達と交流ができることを楽しみに、会員一同頑張っています。





☆献立☆
・チャーハン
・豚肉の生姜焼き
・きゅうりとわかめの酢の物
・レタスのかきたまスープ
・デザート（梨・ぶどう）



（４）公共施設管理等の見直し

項目（担当課）	取り組み内容	実施年度・金額効果（千円・%）	H18	H19	H20	H21	H22
学校給食施設の統廃合（教育委員会）	学校給食施設の統廃合により、人件費、点検委託料等維持経費の削減を図る。	目標			2,580	**2,580**	2,580
		実績		4,583	1,015	**2,423**	—
		達成率			39.3	**93.9**	—
保育園等の統廃合及び民営化（福祉事務所）	統廃合に関する指針を平成19年度中に策定する。 ○左鐙へき地保育園休園	目標			4,133	**23,774**	23,774
		実績			8,420	**8,420**	—
		達成率			203.7	**35.4**	—
指定管理者制度の計画的実施（総務財政課）	平成21年度は22施設について、指定管理者制度を導入する。	目標	675	844	844	**844**	844
		実績	675	844	844	**844**	—
		達成率	100.0	100.0	100.0	**100.0**	—
遊休土地及び遊休施設の処分検討（総務財政課）	遊休土地の売却を図る。	目標		2,787	0	**3,734**	3,734
		実績		3,600	0	**0**	—
		達成率		129.2	0	**0**	—

（５）第３セクターの見直し

項目（担当課）	取り組み内容	実施年度・金額効果（千円・%）	H18	H19	H20	H21	H22
民法法人の解散（情報企画課）	財団法人津和野町開発公社を解散する。	目標			100	**100**	100
		実績			111	**100**	—
		達成率			111.0	**100.0**	—

（６）財政の健全化

項目（担当課）	取り組み内容	実施年度・金額効果（千円・%）	H18	H19	H20	H21	H22
補助金等の見直し（総務財政課）	町単独補助金について、平成18年度1.6%、平成19年度10.9%、平成20年度以降13%削減する。	目標	2,792	18,801	22,918	**22,918**	22,918
		実績	2,792	18,801	22,170	**22,911**	—
		達成率	100.0	100.0	96.7	**100.0**	—
収納対策（税務住民課・福祉事務所・健康保険課・環境生活課・建設課）	各課連携をしながら納付相談を行うとともに、必要に応じて差し押さえを執行し、収納率の向上を図る。	目標	2,704	5,394	8,282	**11,067**	14,076
		実績	3,693	−2,742	3,438	**11,410**	—
		達成率	136.6	−50.8	41.5	**103.1**	—
軽自動車税の税率見直し（税務住民課）	軽自動車税の税率を現行税率の1.2倍に引き上げる。	目標					
		実績					
		達成率					
手数料（建設課）	1筆地座標数値データ閲覧手数料を徴収する。	目標		20	20	**20**	20
		実績		14	4	**8**	—
		達成率		70.0	20.0	**40.0**	—
下水道加入率の向上（環境生活課）	津和野地区下水道加入率の向上を図る。	目標	635	1,110	1,428	**1,666**	1,745
		実績	5,181	11,001	12,184	**18,683**	—
		達成率	815.9	991.1	853.2	**1121.4**	—
森鴎外記念館入館料（教育委員会）	旧宅への入館者の捕捉漏れを図るための対策を講じる。	目標		300	300	**300**	300
		実績		50	28	**23**	—
		達成率		16.7	9.3	**7.7**	—
津和野町民センター・日原山村開発センター使用料（教育委員会）	使用料減免基準の見直しを図る。 ○平成19年10月実施	目標		300	600	**600**	600
		実績		31	252	**60**	—
		達成率		10.3	42.0	**10.0**	—
体育施設使用料（教育委員会）	使用料減免基準の見直しを図る。 ○平成19年10月実施	目標		156	312	**312**	312
		実績		118	431	**651**	—
		達成率		75.6	138.1	**208.7**	—
放課後児童クラブ会費の統一（福祉事務所）	旧町単位で異なる会費の統一化を図る。	目標	54	54	54	**54**	54
		実績	54	54	54	**54**	—
		達成率	100.0	100.0	100.0	**100.0**	—
ケーブルテレビCMテロップ放送料（情報企画課）	ケーブルテレビCMテロップ放送料収入の増収を図る。	目標		200	420	**420**	420
		実績		370	1,087	**864**	—
		達成率		185.0	258.8	**205.7**	—
町営駐車場料金（情報企画課）	駅前駐車場の普通車駐車料金を450円から500円に引き上げる。 ○平成20年4月1日実施	目標		36	482	**482**	482
		実績		0	482	**482**	—
		達成率		0.0	100.0	**100.0**	—
入湯税の導入（税務住民課）	入湯税（日帰り）50円の導入 ○平成20年10月実施	目標			2,200	**4,500**	4,500
		実績			3,431	**4,871**	—
		達成率			156.0	**108.2**	—

【合計】

	実施年度・金額効果（千円・%）	H18	H19	H20	H21	H22
３０項目	目標	74,785	195,862	198,887	**216,163**	228,978
	実績	83,040	190,840	204,104	**198,060**	—
	達成率	111.0	97.4	102.6	**91.6**	—

お問い合わせ／まちづくり政策課（７４－００９６）

町からのおしらせ

あなたが食べるそのお米、どこから来たの？

米トレーサビリティ法がはじまります

島根農政事務所食料部計画課　TEL 0852-24-7311

Q：トレーサビリティって？

A：「生産、加工及び流通の特定の一つまたは複数の段階を通じて、食品の移動を把握できること」（コーデックス委員会2004）です。

米トレーサビリティ法では私たちがスーパーなどでお米を購入する際に、そのお米がどういう過程を経て手元に届いているかを追跡できるように記録をとり、段階的に私たち消費者に産地の情報まで伝えることができるようにするための制度です。

流通ルートが特定可能に

お米がどの生産者、卸売業者を経て小売店などに並ぶようになるのかという流通ルートの特定については、平成22年10月1日より特定ができるようになります。記録される項目は1、品名　2、産地　3、数量　4、年月日　5、取引先名　6、米穀の用途などになります。記録については原則3年間の保管が義務付けられています。（一部例外あり）



産地情報も分かる

平成23年7月1日からは産地の情報を他の事業者へ譲り渡す場合または私たち消費者へ販売する場合には一定の方法で産地情報を直接伝えられるようにすることが必要となります。

同制度については詳しく知りたい場合は農林水産省ホームページでご確認ください。

http://www.maff.go.jp/j/soushoku/keikaku/kome_toresa/index.html

消費者詐欺注意情報、おいしい話にご用心

住宅リフォーム詐欺に注意

島根県環境生活総務課　TEL 0852-22-5103　総務住民課　TEL 74-0059

「近所で工事をしていました。お宅の屋根を見たら瓦がずれています。無料で点検をします。」このように突然、リフォーム業者がやってきます。突然訪問する業者には注意しましょう。

訪問時のトークなど

「住宅の無料点検をしている。お宅の屋根（床下）を見せて欲しい」、「アンテナがこわれています。」など言葉巧みに声をかけ、自宅に上がる、屋根に登る、床下に潜ったりします。

不安をあおる

「瓦が傷んでいる。このままだと屋根がボロボロになってしまう。」「基礎を補強しなければ家が倒れる。」などと不安をあおります。

工事契約を迫る

不安をあおった上で契約を迫ります。「今なら残った材料があるので半額でできる。」などの言葉で、じっくり判断する時間を与えず、すぐ契約しないと損をするようなセールスをします。

極めて早い着工と工事費の請求

契約から日を置かずに工事が始まり、数日で終了します。

さらに、手付金、材料調達費などの名目で着工前に工事費を請求したり、完工直後に工事費を集金し、契約を早期に完結させようとすることもあります。これは、「クーリング・オフ＝契約の解除」をさせないために行われるものです。（なお、訪問販売の場合は、契約から8日以内であれば、工事が終了していても、あるいは工事費を支払っていても、クーリング・オフが可能です。）

不安であれば

知り合いの業者さんや、知らなければタウンページなどで調べて地元に密着したリフォーム業者や工務店などに依頼して、再度調査をしましょう。

高齢者が狙われやすい

高齢者に親切を装ってやってくる悪質な業者がいます。離れて暮らしているご高齢家族や、親しくしている身近な高齢者家庭に、住宅リフォーム詐欺があることを教え、注意するよう声を掛けるようにしましょう。

将来受け取る年金を増やしましょう

国民年金で免除された保険料の追納について

健康保険課　TEL 72-0651

国民年金で保険料を免除された期間は、老齢・障害・遺族の各基礎年金では、年金を受けるための資格については、保険料を全額納めたときと同じ権利を得ることができます。

ただし、老齢基礎年金の年金額では、保険料を全額納めたときの1に対して、全額免除期間は2分の1、4分の3免除期間は8分の5、半額免除期間は4分の3、4分の1免除期間は8分の7で計算されます（注）。また、学生納付特例と若年者納付猶予によって全額免除された期間は、老齢基礎年金の年金額には反映されないカラ期間になってしまいます。

そこで、これらの免除期間について、後でゆとりができたときに、10年以内であれば保険料を追納して満額の老齢基礎年金に近づけることができます。

追納できる期間の順序は先に免除された期間からとされていますが、学生納付特例と若年者納付猶予の期間は、先に追納することも選択できます。

平成22年度に追納する21年度までに免除された追納保険料の額は、表のとおりです（平成19年度以前の追納額には一定の加算が行われています）。

免除された年度	追納保険料額			
	全額免除	四分の三免除	半額免除	四分の一免除
平成12年度	15,770円	―	―	―
平成13年度	15,180円	―	―	―
平成14年度	14,590円	―	7,300円	―
平成15年度	14,360円	―	7,180円	―
平成16年度	14,180円	―	7,090円	―
平成17年度	14,220円	―	7,110円	―
平成18年度	14,260円	10,690円	7,130円	3,560円
平成19年度	14,300円	10,720円	7,150円	3,570円
平成20年度	14,410円	10,810円	7,200円	3,600円
平成21年度	14,660円	10,990円	7,330円	3,660円

＊半額免除は平成14年4月に、四分の一免除と四分の三免除は平成18年7月に、それぞれ創設されました。

（注）平成21年3月以前に免除された期間は、全額免除で3分の1、4分の3免除で2分の1、半額免除で3分の2、4分の1免除で6分の5で計算されることになります。

なお、保険料の追納には納付書が必要です。納付書の発行は申込みが必要ですので、最寄の年金事務所までお問い合せください。

国民健康保険被保険者証の更新を行います

有効期限の切れた保険証を使わないよう気をつけましょう！

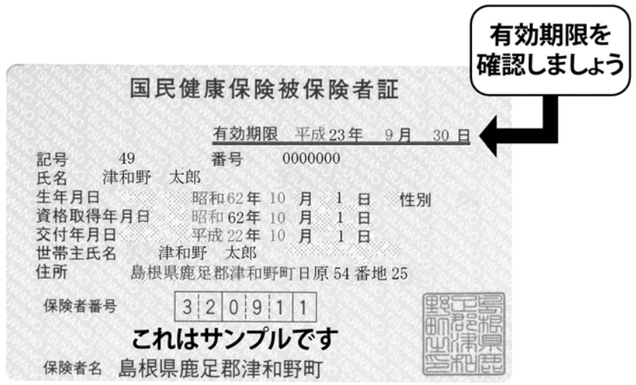
健康保険課　TEL 72-0651

国民健康保険に加入されている方については、9月末に現在お持ちの被保険者証の有効期限が終了します。

新しい被保険者証については、9月下旬に世帯主の方へ郵便（簡易書留）にて送付します。（一部窓口更新の場合があります。）

有効期限の切れた被保険者証では、病院など医療機関の窓口で医療保険の適用が受けられず、高額な医療費を支払わなければいけなくなる場合が発生してしまいます。現在お持ちの被保険者証に記載してある有効期限を確認し、期限切れの被保険者証を使わないよう注意しましょう。

被保険者証の更新等について詳しくお知りになりたい場合は健康保険課へお問い合わせください。



医　療

【津和野共存病院　72-0660】

◆月曜日／整形外科（午前）
　小児科予防接種・乳児検診（午後/予約制）
◆火曜日／外科（午前）
◆水曜日／小児科予防接種・乳児検診（午後/予約制）
◆木曜日／外科・産婦人科（午前）耳鼻咽喉科（午後）
◆金曜日／整形外科（午前/午後）
　小児科予防接種・乳児検診（午後/予約制）
※内　科:月～金曜日（午前）
　（日本神経学会専門医）初診の場合要予約
※小児科:予防接種・乳児検診は13時より開始です。
※婦人科:4月から火曜日の診療はなくなりました。
　木曜日午前の教授診療は今までどおりです。（月1回）
※耳鼻咽喉科:9月から木曜日午後となりました。

【日原診療所　74-0121】

◆月曜日／内科（午前／午後）
◆火曜日／内科（午前／午後）
　外科（第1・3・5火曜日／8時30分～9時30分）
　※受付は9時まで
◆水曜日／内科（午前）消化器内科検査のみ（午前）
◆木曜日／内科（午前）
◆金曜日／内科（午前／午後）
◆土曜日／内科（午前）
※泌尿器科の予約は74-0121まで
※水曜日・土曜日は、午前のみです。
※診療日程は、変更する場合があります。

【和﨑医院　72-0025】

◆水曜日／肝臓病専門外来（日本肝臓学会専門医）／予約制
※当院では、苦痛の少ない鼻からの胃カメラを行っています。
※リウマチ・膠原病専門外来（専門医）を行っています。
※土曜日午後は診療しています。
（14時から17時まで、ただし受付は16時30分まで）。
※9月1日より木曜日が休診となりました。

【つわぶき医院　72−3500】

◆火曜日／ペインクリニック　15:00～18:00
◆木曜日／ペインクリニック　9:00～12:30
※帯状疱疹後の疼痛や慢性の痛みでお悩みの方はご相談ください。
※通常の診療も行います。

手話コミュニケーション

先日、聞こえない人に「痛くないわけがない」と紙に書いて見せ、「これ、痛いこと？痛くないこと？」と聞いてみました。答えは「痛くない」！！
二重否定は聞こえない人にとってわかり難いのです。
特に筆談や書いて伝えるときなど、気をつけて書かないと間違って伝わってしまうことがあります。簡潔に書くと伝わりやすいです。

【町役場】

①



両手で屋根の形にする動きを繰り返しながら右へ移動する

②



腕を水平にした左手の甲に右手の肘を置き、右手を前に振る動作を繰り返す。

③



5指を折り曲げ軽くおろす。

各種相談

【明るい生活相談】
10月　1日（金）日原山村開発センター　9：30～14：30
10月15日（金）日原山村開発センター　9：30～14：30
問：津和野町社会福祉協議会（74-1617）

【無料人権相談】
10月　1日（金）日原山村開発センター　9：30～14：30
10月12日（火）津和野町民センター　9：00～12：00
問：松江地方法務局　益田支局（0856-22-0429）

【無料行政相談】
10月　8日（金）津和野町福祉センター 10：00～12：00
10月22日（金）日原山村開発センター　9：30～14：30
10月22日（金）津和野町福祉センター 10：00～12：00
問：総務財政課（74-0028）
10月18日（月）から10月24日（日）は行政相談週間です。
毎日の暮らしの中で行政などの仕事について困っていること、分からないこと等がありましたら行政相談員にご相談ください。

【手話生活相談】
10月13日（水）役場本庁舎　13：30～16：00
10月27日（水）役場本庁舎　13：30～16：00
問：津和野町福祉事務所（72-0673）

【年金相談】
10月19日（火）益田市民学習センター 10：00～16：00
10月22日（金）日原公民館　10：00～15：00
※22日は年金定期便に関する相談となります。
問：健康保険課（72-0651）

【心配ごと相談】
10月　1日（金）木部公民館（木部地区）　9：00～11：30
10月　4日（月）津和野町福祉センター　（津和野地区）
　13：30～15：00
10月　8日（金）津和野町福祉センター 10：00～12：00
10月12日（火）畑迫公民館（畑迫地区）　9：00～11：00
10月12日（火）小川公民館（小川地区）13：30～15：30

10月22日（金）津和野町福祉センター 10：00～12：00
問：津和野町社会福祉協議会（72-1494）

【無料法律相談（要予約）】
10月15日（金）保健福祉センターやまびこ
　13：00～16：00
問・予約：津和野町社会福祉協議会（72-1494）

【健康相談】
10月　7日（木）日原山村開発センター　13：00～15：00
10月21日（木）日原山村開発センター　13：00～15：00
問：健康保険課（72-0651）

【生活支援（精神障がい）相談（要予約）】
10月15日（金）保健福祉センターやまびこ
　10：00～15：00
問・予約：津和野町福祉事務所（72-0673）

【こころの相談（要予約）】
10月　4日（月）保健福祉センターやまびこ
　13：00～15：00
問・予約：健康保険課（72-0651）

【育児相談】乳幼児の育児に関する相談・計測など
10月　7日（木）子育て支援センター（日原保育園内）
　10：30～11：30
10月26日（火）子育て支援センター（直地児童館）
　10：30～11：30
問・予約：健康保険課（72-0651）

各種相談

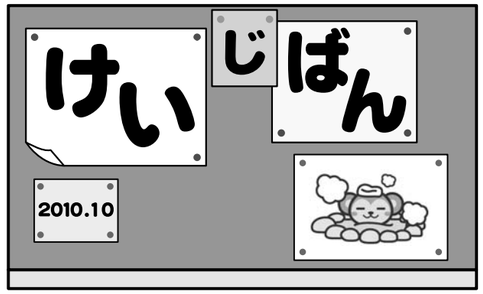
【カンガルー教室】対象者には案内をしています。
妊娠週数23週頃の妊婦さんを対象とした妊婦教室
10月20日（水）子育て支援センター（日原保育園内）
　9：20～　9：30
問・予約：健康保険課（72-0651）

【自殺予防いのちの電話】自殺予防に関する相談
10月10日（火）8：00～翌日8：00
問：0120-738-556（フリーダイアル）

【年末調整説明会】
平成22年度分の年末調整の仕方及び法定調書の提出方法等について、下記のとおり説明会を開催いたします。
11月26日（金）島根芸術文化センター「グラントワ」
第1回目　10：30～12：00
第2回目　13：30～15：00
いずれか都合のよい時間帯にご出席ください。
問：益田税務署　0856-22-0444

募　集

【西部高等技術校訓練生募集】
○普通過程（若年者・高卒程度）
○Aシステム科　定員10名
職業人として必要な情報技術の基礎知識・技術の習得に併せて、事務職として必要な簿記会計及び情報処理機器の活用に関する知識・技術・技能を習得します。
○短期過程（若年者）
建築科　定員15名
木造建築物の建築施工とこれに関する設計、積算などの技能や知識を習得します。
○短期過程（一般）
機械加工・溶接科　定員10名
汎用工作機械及びNC旋盤を操作できる技術及び関連知識を習得します。また各種溶接方法の技術及び関連知識を習得します。
問：島根県立益田高等技術校　0856-22-2450



【平成22年度島根県職員募集】
（中山間地域研究員）
受付期間平成22年9月10日から10月8日（午前8時半～午後5時）
採用予定人数1名
島根県中山間地域研究センターに勤務となります。
（経験者及び地区別）
受付期間平成22年9月10日から10月15日（午前8時半～午後5時15分）
採用予定人数10名
（経験者5名、地区別5名、なお地区別は石見地区3名、隠岐地区2名）
詳しくは島根県人事委員会へお問合せください。
問：島根県人事委員会　℡ 0852-22-5438
http://www.pref.shimane.lg.jp/jinjiiinkai/

一般旅券の新規発給に係る交付日数の短縮について
10月1日申請分から、旅券交付日数が現行の9日から7日に短縮されます。
新規発給にかかる申請の場合、申請の日から、土・日・祝日・年末年始を除き7日目以降に、申請された窓口で受取ることができるようになります。
記載事項に変更が生じた場合の訂正、査証欄の増補及び渡航先の追加の場合の交付日数については、現行どおりで変更はありません。
旅券申請について、詳しくはお問い合わせください。
税務住民課　住民係　℡ 74-0059

町に対する意見募集について

○役場の職員は2ヶ月に一度程度各家庭を回って意見を聞き、議論をして欲しい。
（60歳代・男性）

○町職員と他県の職員の1～2年程度の交流を通して考え方を変えていき、まちづくりの基礎を築いていってはどうか。

○津和野の観光は点と線を結ぶようなルートになっていないので殿町～鷲原～邑輝と観光地を拡大してみてはどうでしょうか。またなごみの里の横にオートキャンプ場を整備してはどうでしょうか？
（50歳代・女性）

様々なご意見ありがとうございます。いただいてご意見等については今後の参考にさせていただきます。

こちら津和野高校支援係

同支援係と津和野高校が協力しながら行っている様々な活動の様子をお伝えします。

津和野高校合唱部は8月18日にNHK合唱コンクール、22日には全日本合唱コンクールの各県大会に出場し、どちらも銀賞を受賞しました。
出場校は、津高以外は大規模校ばかりという中で、15人の部員が鍛えられた声で美しハーモニーを響かせました。審査員から自由曲の完成度は高く大規模校に全く遜色がないという高い評価を受け、もう一歩で中国大会出場という健闘でした。
また、吹奏楽部も7月30日に県大会に出場、銀賞を獲得しました。小学校から吹奏楽部で活動し、高校では経験者ばかりでスタートする市部の高校に対し、津高の吹奏楽部は、高校になって楽器を手にする「音楽が好き、だけど、楽器にさわるのは高校になってから」という初心者が部員のほとんどです。休日も楽器と仲良くして、26人で曲を創り上げました。
合唱も吹奏楽も、それぞれ違う音を出すパートや楽器が、それぞれの音を主張しつつ調和させて1つの世界を創り上げる、それが魅力だと部員は言っています。
津高では、文化祭でのクラス対抗の合唱コンクールも伝統の催し物になっています。9月3日（金）の文化祭も大勢のご家族・卒業生の前で演奏しました。
津高ほどの規模（1学年2学級以下）で、合唱・吹奏楽2つの部が活動しているのは津高だけです。「近県音楽大会」という音楽コンクールを町が独自に主催する町にあるふさわしい部活動です。